足場と躯体の隙間から鉄骨部材が落下

飛来落下一1

	発生	発生月日 時 8月8日(木)11時20分 工事内容 寺院新築工事						
	被	災者 職種 大工 経験年 34 所属 二次下記	青け		初期の対策状況	初期の対策状況含む事項(写真含)		
		被災程度 左手部打撲、挫傷		モ目o: \				
							躯体から外部足場までは60cm程度の離隔があり、高低差が約1.6mであった。 鉄骨を移動する際に下を確認した時は誰も居なかったが、たまたま被災者が	
l		こした時、子が用って躯体と外部に物の隙間がら冷下。下を多っ	11000	1_ <u>/</u>		歩いて来た時に物体が落下した。		
災害発生時記録	災害発生状況(写真)	災害発生 状況 写真				尚、怪我の程度は軽かったため翌日から通常作業	に復帰した。(不休災害で処理)	
番号		災害発生要因	人的 要因	物的 要因	管理的 要因	同種工事の再発防止対策	コ メ ン ト(追記・確認すべき事項)	
1	物	体の落下防止設備が無く、立入禁止もしていなかったこと		0	0	1. 落下防止ネットを設置する。若しくは物体の落下の影響区域を立入禁止とする。		
2	作	************************************			0	2. 朝礼時等に各作業場所の作業状況や注意事項を確実に伝達する。		
3	無	理な態勢で作業したこと	0			3. 高低差がある場所への運搬は単独では行わない。		
	i i							